

浜田市行財政改革推進委員会委員の意見等（事前受付分）

【議題 行財政改革実施計画〔平成30年度実績及び令和元年度計画〕（案）について】

1-(1)-7 人事評価制度の導入による人材育成と処遇反映〔P13〕

1-(1)-8 業務の質・量に応じた適材適所な人員配置〔P14〕

1-(1)-9 定員適正化計画の管理・推進〔P15-P16〕

委員	意見等
馬場真由美 委員	人事管理について必要な手法で人事評価制度が導入されており、A評価となっていると考えられますが、人材育成についての面も十分に手立てを講じて頂きたいと思えます。職員の適材適所人員配置のためにも人材育成が必要。また、再任用の制度の活用のみでなく、将来の浜田市のために職員の年齢構成等十分考慮した計画的な職員採用を期待します。

1-(1)-34 浜田市教育文化振興事業団のあり方見直し〔P30〕

委員	意見等
馬場真由美 委員	浜田市の教育文化振興のために事業団を適正かつ効率的な組織に改編する将来像が明記してあり、それについての職員の方々のご尽力は並々ならぬものであることを知っています。行財政改革の視点から、教育文化振興のためとはいえ、今後、資料館等の建設についてもランニングコスト等十分に考慮したものでなければならぬと考えます。

1-(2)-7 投開票事務従事経費の縮減〔P43〕

委員	意見等
馬場真由美 委員	投開票事務従事経費の節減においては、民間の方々、特に大学生、臨時嘱託職員等の協力をお願いする方法は、経費節減になることと、選挙に対しての関心度を高める方法として効果的であると考えます。今後、職員数の減少もある中で、若い方々一般の方々にももっと窓口を広げていくことが必要と考えます。

〔裏面あり〕

1-(2)-8 市民、地域との連携強化（地区まちづくり推進委員会の設立推進）〔P44〕

委員	意見等
馬場真由美 委員	新たなまちづくりの体制を推進するためにも、市民、地域との連携は必要十分条件であり、そのことは、今回自治区制度の存続について地域で議論するプロセスの中で十分確認できたと考えます。地域政策部が職員への十分な説明、そして地域へ出向いて説明責任を果たされることで取り組みが進むと確信しています。身近な小さな拠点作りによって、市民が地域づくりを我が事として受け止めることに繋がっていくと考えます。

1-(2)-9 協働の推進〔P45〕

委員	意見等
馬場真由美 委員	協働の推進について、今回の自治区制度存続について地域で十分な議論がなされ、パートナーシップについても一定の認識が進んだと受け止めています。公民館のコミセン化についても、すでにその取り組みを推進している地域もあり、十分な説明を地域に出向いてしていただくことで更に理解が深まると考えます。

2-(1)-5 指定管理者制度の効率的な運用〔P54-P55〕

委員	意見等
馬場真由美 委員	指定管理者制度の導入運用については、行財政改革から受け止めざるを得ないとしても、モニタリング等について行政責任を果たすべく実施していただきたいと考えます。

2-(1)-15 学校給食施設の統合〔P65-P66〕

委員	意見等
馬場真由美 委員	学校給食の在り方については、施設の統合ありきではなく、小中学校の大切な時期、食習慣、食育の視点からも十分な検討をお願いします。